

令和4年度「建築物石綿含有建材調査者講習」（一般・一戸建て等）のご案内

鹿児島労働局長建築物石綿含有建材調査者講習登録機関	
事務所の名称	建設業労働災害防止協会 鹿児島県支部
事務所の所在地	〒890-8512 鹿児島市鴨池新町6-10
電話等	[電話] 099-257-9211 [FAX] 099-257-9214
登録番号	1
登録年月日	令和 3年11月 2日
登録の有効期間満了日	令和 8年11月 1日

建築物等の解体または改修の作業を行う際、対象建築物等の石綿等使用の有無についての事前調査は、「建築物石綿含有建材調査者講習修了者」が行うことが義務付けられました。
 (石綿障害予防規則等令和2年7月改正。施行は令和5年10月1日)
 当支部では「建築物石綿含有建材調査者（一般・一戸建て等）講習」を下記により開催します。

1 受講資格

- ① 別紙1の受講資格を確認してください。本講習は、「受講資格のいずれか一つに該当」すれば受講できます。（「一般」と「一戸建て等」の受講資格は同じです。）
- ② 受講資格を確認できる書類の写しや実務経験等の証明等が必要です。
- ③ 申込の際、受講資格を確認できない場合は、受講申し込みをお断りしますので、予めご了承下さい。

2 講習科目、講習時間等

別表1のとおり

- ① 受付は、講習開始時刻の30分前から行います。
- ② 講習の開始時刻（オリエンテーションを除く）に遅刻された方の受講は認めません。早退された方も失格とします。遅刻・早退しないようお願いします。
- ③ 講習科目の順序は、講師の都合により変更する場合があります。

3 講習年月日・種別・募集定員・会場・申込受付期間

別表2のとおり

【注】 申込者が10名に満たない場合、あるいはその他やむをえない事由により、開催を取り止める場合があります。

4 受講料及びテキスト代(消費税込み)

	一般調査者	一戸建て等調査者
受講料	33,000円（一部免除者31,000円）	30,000円（一部免除者28,000円）
テキスト代	4,630円	3,100円

- * 「一部免除者」とは、「石綿作業主任者技能講習修了者」です。（後記6を確認してください。なお、「特定化学物質等作業主任者技能講習修了者」は一部免除者には該当しませんので、ご注意ください。）
- * 建災防会員事業場の受講者については、テキスト代を建災防鹿児島県支部が負担しますので、受講料のみとなります。
- * 講習を受講されなかった場合、納入された受講料、テキスト代（会員外のみ）は、原則として返還できません。また、会員であっても、受講されなかった場合のテキスト代はお支払いいただきますので、ご承知置きください。

5 申込み方法（申込書に記載された個人情報、本講習の目的以外に使用することはありません。）

* 「センター（鹿児島県建設センター）」（鹿児島市鴨池新町6-10）

で受講される場合（建築協会会員対象除く）*

- ① 受講申込書（別紙2）に必要事項を記入し、受講資格を証する書類の写し及び実務経験証明等を十分確認のうえでこれらの関係書類を添付のうえ、郵送により別表の講習実施日ごとに同表に記載した申込受付期間中に必着するようにお願いします。

なお、本講習は、「受講資格のいずれか一つに該当」すれば受講できますので、受講記号の番号のいずれか一つのみに○印を付けて、それに必要な書類の添付や証明を行ってください。

また、宛先を書き、84円切手を貼った返送用封筒を同封してください。

- ② 申込者の本人確認及び記載事項等確認のため、自動車運転免許証の写し等を添付してください。
- ③ 募集定員の関係で、同一講習日の受講申込は1つの会社（事業場）からは2名までとします。
- ④ 書類等が不備の場合は受け付けできません。
- ⑤ 受付は「郵送のみ」です。窓口での受付は行いません。
- ⑥ 受付期間中の申込み者が定員を超えた場合は抽選とします。
- ⑦ 抽選に漏れた場合、送付された書類は返送しますが、次回以降の受講を希望される場合は、改めてその受付期間中に届くよう郵送してください。
- ⑧ 申込受付後、当方から受講料、テキスト代の納入について連絡しますので、連絡後1週間以内に現金書留で送金してください。
- ⑨ 受講料、テキスト代を受領しましたら、受講票及びテキストを受講日の概ね1月前くらいまでに送付いたします。

* 「鹿児島県建設センター」以外の会場で受講される場合*

鹿児島県建設センター以外の会場で受講される場合も手続きは上記①～⑨と同じとしますが、「郵送に限る」ことなどについては、それぞれの会場の事務局にご確認ください。

6 受講科目の一部免除

別表1の受講資格「(1)労働安全衛生法別表第18第23号に掲げる石綿作業主任者技能講習修了者」については、別表2の「一般」、「一戸建て等」のいずれも「科目1 建築物石綿含有建材調査に関する基礎知識1（1時間）」は、受講免除になり、修了考査もこの科目が免除となります。

なお、「特定化学物質等作業主任者技能講習修了者」は一部免除者には該当しませんので、ご注意ください。

7 申込み・問合わせ先

- (1) 「センター（鹿児島県建設センター）」会場での受講希望者

建設業労働災害防止協会 鹿児島県支部

（〒890-8512 鹿児島市鴨池新町6-10 電話 099-257-9211）

* 一般社団法人鹿児島県建築協会会員を対象とした「5月9～10日」及び「9月8～9日」の講習を受講される方は、上記5にしたがって建築協会事務局で手続きをお願いします。

- (3) 「種子島（種子島建設会館）」会場での受講希望者

建設業労働災害防止協会 鹿児島県支部 種子島分会 （鹿児島県建設業協会 種子島支部）

（〒891-3116 西之表市鴨女町209-1 電話 0997-22-0935）

- (4) 「奄美（奄美建設会館）」会場での受講希望者

建設業労働災害防止協会 鹿児島県支部 奄美分会 （鹿児島県建設業協会 奄美支部）

（〒894-0006 奄美市名瀬小浜町20-3 電話 0997-52-0846）

- (5) 「出水建設会館」会場での受講希望者

建設業労働災害防止協会 鹿児島県支部 出水分会 （鹿児島県建設業協会 出水支部）

（〒899-0201 出水市緑町34-2 電話 0996-62-0565）

- (6) 「曾於（曾於建設会館）」会場での受講希望者
建設業労働災害防止協会 鹿児島県支部 曾於分会 （鹿児島県建設業協会 曾於支部）
（〒899-8102 曾於市大隅町岩川5662 電話 099-482-0126 ）
- (7) 「栗野（丸岡会館）」会場での受講希望者
建設業労働災害防止協会 鹿児島県支部 栗野分会 （鹿児島県建設業協会 栗野支部）
（〒899-6207 始良郡湧水町米永476 電話 0995-74-2221 ）
- (8) 「大根占（錦江町文化センター：予定）」会場での受講希望者
建設業労働災害防止協会 鹿児島県支部 大根占分会 （鹿児島県建設業協会 大根占支部）
（〒893-2303 肝属郡錦江町馬場445-3 電話 0994-22-0211 ）
- (9) 「屋久島（屋久島建設会館：予定）」会場での受講希望者
建設業労働災害防止協会 鹿児島県支部 屋久島分会 （鹿児島県建設業協会 屋久島支部）
（〒891-4311 熊毛郡屋久島町安房650の24 電話 0997-46-2559 ）

8 修了証明証等の交付

- ① 所定の科目、時間を全て受講し、修了考査に合格した方には、後日、「修了証明証」（調査者の資格証）を交付します。
- ② 所定の科目、時間を全て受講し、修了考査不合格の方には、後日、「受講証明証」（調査者の資格証ではありません。）を交付します。

9 修了考査不合格者の再受験

- ① 修了考査不合格の方は、不合格年度の翌々年度末までの間において、鹿児島県建設センターで実施される講習の2日目の修了考査実施時間帯に再受験できます。
- ② 再受験する場合は、別途「修了考査再受験申込書」（修了考査不合格の通知に同封します。）に、上記8の②の「受講証明証」及び「再受験料5,000円」を添えて、再受験をしようとする講習実施日のひと月前までに申し込んでください。
- ③ 再受験は、「鹿児島県建設センター」会場でのみ実施します。（「鹿児島県建設センター」以外の講習会場では原則として再受験は認めません。）

< 講習前に必ずテキストの予習を！ >

本講習の受講申し込み受付後、予め、講習に使用するテキストを配付しますので、講習前までに必ず予習をしておくことをお勧めします。

【参考】

本講習の「一般建築物石綿含有建材調査者」と「一戸建て等建築物石綿含有建材調査者」の違いは次のとおりです。

「一般」 ⇒ 一戸建て等を含むすべての建築物について、石綿含有建材の調査ができる。

「一戸建て等」 ⇒ 「一戸建て住宅」および「共同住宅（長屋を含む。）の住戸の専有部分」の石綿含有建材の調査ができる。共同住宅の住戸の内部以外の部分（ベランダ、廊下等の共用部分）や店舗併用住宅の石綿含有建材の調査はできない。

【受講資格】等

【注】 添付書類欄の「実務経験証明A～E」は、受講申込書の裏面に証明欄があります。

受講記号	受講資格	添付書類等
(1)	労働安全衛生法別表第 18 第 23 号に掲げる石綿作業主任者技能講習修了者	修了証の写し
(2)	学校教育法による大学（短期大学を除く。）において、建築に関する正規の課程又はこれに相当する課程を修めて卒業した後、建築に関して2年以上の実務の経験を有する者	卒業証書写し 又は 卒業証明書 及び 実務経験証明 A *下記【注1】、【注2】及び【注3】を確認してください。
(3)	学校教育法による短期大学（修業年限が3年であるものに限り、同法による専門職大学の3年の前期課程を含む。）において、建築に関する正規の課程又はこれに相当する課程（夜間において授業を行うものを除く。）を修めて卒業した後（同法による専門職大学の前期課程にあつては、修了した後。（4）において同じ。）、建築に関して3年以上の実務の経験を有する者	
(4)	学校教育法による短期大学（同法による専門職大学の前期課程を含む。）又は高等専門学校において、建築に関する正規の課程又はこれに相当する課程を修めて卒業した後、建築に関して4年以上の実務の経験を有する者（（3）に該当する者を除く。）	
(5)	学校教育法による高等学校又は中等教育学校において、建築に関する正規の課程又はこれに相当する課程を修めて卒業した後、建築に関して7年以上の実務経験を有する者	
(6)	建築に関して11年以上の実務の経験を有する者	
(7)	労働安全衛生法等の一部を改正する法律（平成17年法律第108号）による改正前の労働安全衛生法別表第18第22号に掲げる特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者で、建築物石綿含有建材調査に関して5年以上の実務を有する者	左記に示す技能講習修了証写し及び実務経験証明 C
(8)	建築行政に関して2年以上の実務の経験を有する者	実務経験証明 D
(9)	環境行政（石綿の飛散の防止に関するものに限る。）に関して2年以上の実務経験を有する者	
(10)	労働安全衛生法第93条第1項の産業安全専門官若しくは労働衛生専門官又は同項の産業安全専門官若しくは労働衛生専門官であった者	実務経験証明 E
(11)	労働基準監督官として2年以上その職務に従事した経験を有する者	実務経験証明 D
(12)	第一種作業環境測定士又は第二種作業環境測定士であつて、建築物石綿含有建材調査に関して5年以上の実務経験を有する者	作業環境測定士登録証の写し及び実務経験証明 C

【注1】 上表(2)から(6)までに規定する「建築に関して」の「実務の経験」には、建築物の解体工事又は改修工事の実務に関する経験が含まれること。

【注2】 上表(2)から(5)までに規定する「建築に関する正規の課程又はこれに相当する課程」とは、「建築学科」等建築学に係る課程であることがその名称から明らかであるもののほか、建築士法（昭和25年法律第202号）第14条に規定する一級建築士試験の受験資格又は同法第15条に規定する二級建築士試験及び木造建築士試験の受験資格を得られる学校として公益財団法人建築技術教育普及センターが公表する学校・課程その他建築に関する課程及び独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与申請案内中、「建築学」で示す科目数を満たすことができる学校・課程が含まれること。
(令和3年10月8日付け基発1008第61号)

【注3】 「卒業証書」又は「卒業証明書」において、「建築学に関する正規の課程又はこれに相当する課程」の明記がない等により、これらの課程を修めたことの判断が困難な場合は、「履修科目証明書」もしくは「成績証明書」等、そのことが判断できる書類を添付してください。

別表 1

【一般調査者講習】講習科目・時間等

第1日目 8:50~16:20 (途中休憩含む)	
オリエンテーション	10分
科目1 建築物石綿含有建材調査に関する基礎知識1	1時間
科目2 建築物石綿含有建材調査に関する基礎知識2	1時間
科目3 石綿含有建材の建築図面調査	4時間
1日目講義時間 計	6時間
第2日目 8:40~17:10 (途中休憩、修了考査時間含む)	
オリエンテーション	10分
科目4 現場調査の実際と留意点	4時間
科目5 建築物石綿含有建材調査報告書の作成	1時間
2日目講義時間 計	5時間
修了考査 (2日目の講義終了30分後から1.5時間)	1.5時間

【一戸建て等調査者講習】講習科目・時間等

第1日目 8:50~16:20 (途中休憩含む)	
オリエンテーション	10分
科目1 建築物石綿含有建材調査に関する基礎知識1	1時間
科目2 建築物石綿含有建材調査に関する基礎知識2	1時間
科目3 一戸建て住宅等における石綿含有建材の調査	1時間
科目4 現地調査の実際と留意点	3時間
1日目講義時間 計	6時間
第2日目 8:50~11:30 (途中休憩、修了考査時間含む)	
オリエンテーション	10分
科目5 建築物石綿含有建材調査報告書の作成	1時間
2日目講義時間 計	1時間
修了考査 (2日目の講義終了30分後から1時間)	1時間

別表2

【講習年月日・種別・募集定員・会場・申込受付期間】

(令和4年4月～9月)

講習年月日	種別	募集定員	会場（末尾参照）	申込受付期間（郵送に限る）
令和4年4月 5日(火)～6日(水)	一般	40人	センター	令和4年2月14日(月) ～2月17日(木)
令和4年4月 14日(木)～15日(金)	一般	40人	加治木	令和4年2月21日(月) ～2月24日(木)
令和4年5月 9日(月)～10日(火)	一般	50人	センター (建築協会)	令和4年3月7日(月) ～3月11日(金)
令和4年5月 12日(木)～13日(金)	一般	50人	種子島	令和4年3月10日(木) ～3月15日(火)
令和4年5月 18日(水)～19日(木)	一般	40人	センター	令和4年3月16日(水) ～3月22日(火)
令和4年5月 26日(木)～27日(金)	一般	40人	奄美	令和4年3月17日(木) ～3月23日(水)
令和4年6月 6日(月)～7日(火)	一般	30人	出水	令和4年4月6日(水) ～4月12日(火)
令和4年6月 16日(木)～17日(金)	一般	30人	曾於	令和4年4月13日(水) ～4月19日(火)
令和4年7月 7日(木)～8日(金)	一般	30人	栗野	令和4年5月16日(月) ～5月20日(金)
令和4年7月 14日(木)～15日(金)	一般	40人	センター	令和4年5月11日(水) ～5月17日(火)
令和4年8月 18日(木)～19日(金)	一般	40人	センター	令和4年6月15日(水) ～6月21日(火)
令和4年8月 30日(火)～31日(水)	一般	30人	大根占	令和4年6月22日(水) ～6月28日(火)
令和4年9月 1日(木)～2日(金)	一戸建 て等	40人	センター	令和4年6月24日(金) ～6月30日(木)
令和4年9月 8日(木)～9日(金)	一般	50人	センター (建築協会)	令和4年7月1日(金) ～7月7日(木)
令和4年9月 29日(木)～30日(金)	一般	40人	センター	令和4年7月22日(金) ～7月28日(木)

別表2（続き）

【講習年月日・種別・募集定員・会場・申込受付期間】

（令和4年10月～令和5年3月）

講習年月日	種別	募集定員	会場	申込受付期間（郵送に限る）
令和4年10月 24日(月)～25日(火)	一般	40人	センター	令和4年8月17日(水) ～8月23日(火)
令和4年11月 9日(水)～10日(木)	一般	40人	屋久島	令和4年9月6日(火) ～9月12日(月)
令和4年11月 24日(木)～25日(金)	一般	40人	センター	令和4年9月15日(木) ～9月21日(水)
令和4年12月 6日(火)～7日(水)	一戸建て等	40人	センター	令和4年9月29日(木) ～10月5日(水)
令和4年12月 22日(木)～23日(金)	一般	40人	センター	令和4年10月14日(金) ～10月20日(木)
令和5年1月 23日(月)～24日(火)	一般	40人	センター	令和4年11月15日(火) ～11月21日(月)
令和5年2月 21日(火)～22日(水)	一般	40人	センター	令和4年12月13日(火) ～12月19日(月)
令和5年3月 7日(火)～8日(水)	一般	40人	センター	令和5年1月5日(木) ～1月11日(水)
令和5年3月 23日(木)～24日(金)	一般	40人	センター	令和5年1月13日(金) ～1月19日(木)

《 会場説明 》

センター	鹿児島県建設センター	鹿児島市鴨池新町6-10	
加治木	始良郡建設会館	始良市加治木町諏訪町20	会員を対象
種子島	種子島建設会館（予定）	西之表市鴨女町209-1	会員を対象
奄美	奄美建設会館	奄美市名瀬小浜町20-3	
曾於	曾於建設会館	曾於市大隅町岩川5662	会員を対象
栗野	丸岡会館	霧島市横川町上ノ3201	
大根占	錦江町文化センター（予定）		会員を対象
屋久島	屋久島建設会館（予定）	熊毛郡屋久島町安房650の24	
センター (建築協会)	「一般社団法人鹿児島県建築協会」（鹿児島市城山町2-13）会員を対象		